



## 1000人の1歩



学校法人生光学園 生光学園中学校長  
佐近隆義

わが校長室には、美しい砂浜を写した海岸の写真パネルが飾ってある。これがとっておきの「私の一品」である。場所は徳島市小松海岸、撮影日は平成27年5月30日早朝8時ころに撮られたものだ。

この日は、530（ゴミゼロ）運動にひっかけた海岸清掃が、あった。早朝6時にボランティアで集まった500名余りの有志が、海岸の流木・木くず・貝殻そして人工ゴミを集めるのである。

集合時に眺めた海岸は、あまりにも広すぎ、おまけにごみだらけで、初参加の私は「これだけの人数で頑張ったとしても一部しかきれいにならないだろう」と感じた。

ところが1時間後、その予想は見事に覆された。それがパネルの写真である。

このときが、わが校が『めざせ！ ゴミゼロ運動 in 小松』に初参加した日であった。当時このイベントは既に4回目を数えていた。実は、この運動へのお誘いは、3年前の第1回目よりいただいていたのだが、お断わりを続けていた。私の中で「お休みの早朝、ボランティアを募っても集まらない、30人集まればいいところ……」と見切っていたのかもしれない。学園（うちは幼小中高揃った総合学園）をあげての参加となれば、ある程度の数字を集めなければ恥ずかしい、という思いが私の本音でもあった。

しかし5月30日早朝、あの日、ふたをあげれば、なんと105名もの学園関係者が海岸に来てくれた。「30人集まれば……」と、はなから見切っていた自分を心底恥じた。

この運動の発起人が謳っている「1人の1000歩より1000人の1歩」のスローガンにも感動した。

紀伊水道に面した広い砂浜に散在するゴミが、わずか1時間足らずで見事に、何ひとつないビーチに変わるのを見るのは“快感”そのものである。参加してくれたお一人お一人も、そのことを実感してくれている。だからこそ、翌年さらに仲間を連れて参加してくれるのだと思う。

あれから5年、学園としての参加者は年々増え続けている。今年はなんと、270名の幼稚園から高校までの園児・児童・生徒やその保護者が、海岸に集結してくれた。そして全体参加者は今や、念願の1000名を超え1050名であったと主催者発表があった。

校長室に飾られたこのパネルを眺める度に、次のことを再確認している。

「信は力なり」そして「1000人の1歩」